

区分	評価指標	H25実績	H26実績	H27実績	前年度比	図書館運営全体
図書館運営	基本的サービス					自己評価
	資料購入費: 決算数値(千円)	176,751	177,150	167,332	0.94	外部評価 ・人口減少の折、登録者減は仕方ないと考えているが、ブックスタートに参加者が3割の登録というのは、どう受け止めるべきか。 ・数値の変化はあまり気にせず、何が問題かを検討してほしい。 ・新規利用者の実績はいいかなのか。私感だが、図書館のレイアウトや蔵書案内にももう少し独自のアイデアができないだろうか。たまに変化があると、足を運ぶ一因になるのではないかと。 ・数字にとらわれず、長いスパンで取り組んでいただきたい。職員の増えない中で、よく健闘されていることを評価する。 ・公共図書館勤務経験を振り返り、現在の職員の仕事量(事業数)に驚きとともに敬服する。一市民として応援している。 ・地区図書室の入館者数を把握するような事を考えてほしい。 ・中央図書館で減少傾向にあっても、他の図書館で利用が増えているのであれば、それは望ましい形ではないか。 ・資料購入費が減ったのに、個人の出館数は増加したのでよく頑張ったといえるが、登録者は減っているのでも工夫が必要なのだろう。
	蔵書点数(点): 図書・AV	1,868,210	1,858,741	1,903,315	1.02	
	個人の貸出点数(点): 雑誌・AV含む	4,599,711	4,579,026	4,660,496	1.02	
	個人の登録者数(人)	159,073	153,527	149,051	0.97	
	(内新規登録者数)	18,375	19,181	17,549	0.91	
入館者数(人) ※地区図書室除く	後期 新規	-	-	※参考値 2,694,048	-	

区分	評価指標	H25実績	H26実績	H27目標	H27実績	自己評点	H28目標	評価(次年度への展開)	
施策・事業(オンライン各館)	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」							自己評価	
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	71,300	69,592	72,000	83,157	3	72,800	外部評価 ・予約対応を増やすことで、出版の振興を阻害しないか心配だ。 ・時代に取り残される人がないようにされたい。(スマホを持っている人だけではない) ・スマホで見るときに、スマホ専用ページとそうでないページと選択できるとありがたい。 ・レファレンスや個人予約は、図書館利用の入口なので大切な指標だ。ホームページアクセス件数を増やす手立ても何かあるはず。	
	個人予約件数(件)	682,794	695,963	700,000	735,883	3	740,000		
	ホームページアクセス件数(件)	1,296,557	1,399,303	1,400,000	1,321,199	1	1,350,000		
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」							自己評価	
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	104,367	107,839	110,000	111,933	3	120,000	外部評価 ・同じ市でもさらに各区ならではの郷土資料を充実させている点はすばらしい。 ・特色ある地域資料の収集に、これまで以上に努めてほしい。 ・各区人口構成、歴史、文化が違えば、求めるものも異なる。需要をくみ取り、館としての方向性を示す事が必要。全ての要求に応える事がベストとはいえない。 ・近年、様々な災害が起きているので、地域資料を市立図書館が収集して公開することは重要である。行政の活動と連動して管理を考えていってほしい。 ・図書館を利用する人は、図書館行政の助言者、支援者と考えて、助言を求めることが有効な手立てとなる。	
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	36,940	37,718	38,000	39,105	3	40,000		
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	後期 新規	4	43	-	25	-		30
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	後期 新規	-	-	-	33	-		35
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」								自己評価
	児童書の貸出冊数(冊) (12歳以下子ども一人当たり)	12.1	12.1	12.2	13.1	3	12.4	外部評価 ・職場体験が、中央のみでなく各図書館においても3割減の理由が重複という原因分析には疑問が残る。 ・児童書の貸出冊数、及び子ども・親子対象事業の参加者数とともに、子どもの読書環境の整備に努めたことにより増加が見られた。 ・職場体験の受け入れ人数は、希望日が重なり受入することができなかつたため減少した。重複する時期は1校でも多く受け入れられるよう調整する。 ・講師派遣は、子どもの読書普及を図るため、公民館や子育て支援センターなどへ積極的に派遣した。	
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	後期 新規	53,088	56,019	-	62,285	-		63,000
	子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	15,100	18,400	19,000	20,292	3	20,500		
	職場体験受入人数(人)	285	267	260	182	1	185		
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	後期 変更	302	253	-	208	-		200
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	後期 新規	-	-	-	8	-	10		
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」 ※ボランティア活動には、東プラ・秋川・金津・小須戸・西内野の各地区図書室を含む。								自己評価	
図書館ボランティア活動者数(延人数)	6,065	6,419	6,500	6,462	2	6,500	外部評価 ・H28目標の設定が低くおさまられている。 ・秋葉区のようなボランティア交流会を各図書館でできないか。ブックスタートボランティアでも運営に支障が出ないよう配慮してほしい。 ・ボランティアの活動意欲が継続するよう、交流会を開催するのはよいことだと思う。 ・元気でやる気があり、時間もある方(特に60〜70代)が多いので、そういう方々とながりを作る事が大切。グループを作ってもらうためには、職員は遠慮せず積極的に働きかけてほしい。そういう指導をしてくれる職員への研修指導者を見つけることも大切。		
ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	74	63	65	63	1	60			
利用者の意見を把握する機会の設定(回)	-	19 (全館協議会15回、黒埼3回、中央1回)	15 (全館協議会15回、黒埼3回、新津1回)	19	3	18			
共催・協働事業の実施件数(件)	後期 変更	-	-	-	170	-		175	
効率的・効果的な運営(職員)								自己評価	
研修参加職員数(延人数)	578	624	630	765	3	630	・新システムの移行に伴う研修を実施したことにより、参加人数が大幅に増加した。 ・職員の職務能力向上を目指し、図書館及び実務に関する研修へ積極的に参加した。		

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った